

『富山大学日本文学研究』 1～10号総目次

1号 (二〇一七・三)

〈産業組合主義〉の比喩的展開

——一九二〇年代後半から一九三〇年代前半における展開
の多様性——

牧 千夏…1

揺らぎが紡ぐ物語

——太宰治「饗応夫人」論

細谷 里穂…13

村上春樹『若い読者のための短編小説案内』論

西田谷 洋…30

2号 (二〇一七・七)

特集 小川洋子随想教材を読む

言葉に潜む死の香り

——小川洋子随想教材を読む

高木佐和子…1

過去の行為を神聖化させるもの

——小川洋子「私の愛するノート」

東海 義仁…3

消滅と痕跡

——小川洋子「人と人が出会う手順」

黄 亜蘭…7

自然と数学のロマンの物語

——小川洋子「数の不思議に魅せられて」

黒田 苑・須貝 航太…12

静かに伝承し続ける人々

——小川洋子「誰の目にもふれないところで」

高木佐和子…18

書評

西田谷洋編『あまなきみこの童話を読むⅡ』

——ファンタジーの可能性——

團野 光晴…22

新刊紹介

西田谷洋編

『女性の語り／語られる女性 日本近現代文学と小川洋子』

牧 千夏…27

大木志門・紅野謙介編

『21世紀日本文学ガイドブック6 徳田秋聲』

安井 海洋…29

*

ポスト・トゥルースとフィクション

——村上春樹「象の消滅」「TVピープル」「沈黙」

西田谷 洋…31

新刊紹介

亀井秀雄著『増補感性の変革』

東海 義仁…35

3号(二〇一八・二)

特集現代批評教材を読む

はじめに

——高等学校国語学習指導要領における批評の位置

東海 義仁…1

*

指導者を語る支援者が語る

——『乳と蜜の流るゝ郷』と「ポラーノの広場」の産業組

合表象

牧 千夏…39

フィクションのリアル／技術のリアリティ

——岡真理「虚構のリアリズム」

須貝 航太…14

ステレオタイプというわかりやすさ

——山田登世子「メディアのテロル」

黒田 苑…19

変化しているものはないか

——阪本俊生「ポスト・ブライバシー」

東海 義仁…22

4号(二〇一八・七)

小川洋子『まぶた』論

——物語と視差

高木佐和子…1

批評と研究の界面について

西田谷 洋…26

小川洋子「アンジェリーナ」におけるプロットの修辭学

西田谷 洋…19

村上春樹「ドライブ・マイ・カー」論

——視点の転換と偏りについて——

東海 義仁…33

*
書評

西田谷洋著『村上春樹のフィクション』

中村 三春…41

5号(二〇一九・二)

題名読みの技法

——内山節「自然と人間の関係をとおして考える」

近藤 周吾…1

日常空間のファンタジー性、あるいは空間の変質

——あまんきみこ『鳥よめ』と『空の絵本』——

西田谷 洋…15

村上春樹「木野」にみられる暴力の在り方について

東海 義仁…25

6号(二〇一九・七)

星新一文学におけるコミュニケーションの諸相

須貝 航太…1

杉みき子『小さな町の風景』における「風景」

黒田 苑…17

小川洋子『最果てアークード』の構造

西田谷 洋…31

増刊1号(二〇二〇・二)

特集・徳田秋聲の短編小説を読む

「犠牲者」論のフレイム

鈴木亜紗実…2

「絶望」の意味

坂東 千晶…10

徳田秋聲の小説作法書における読者意識

西田谷 洋…14

*

直接接続の夢

——香魚子における透明と障害

西田谷 洋…22

*

あまんきみこ『もうひとつの空』本文異同稿

テクニカル・ライティング授業グループ

…(1)

7号 (二〇二一・二)

一九三〇～一九三二年の泉鏡花小説

鈴木亜紗実…1

栗林佐知『仙童たち』を読む

西田谷 洋…17

臨時増刊1号 (二〇二一・三)

高等学校・芸術書道の指導について

酒井 麻見…1

争闘する言葉／変動する価値

西田谷 洋…10

幼児との会話における「代弁」的確認要求表現の効果

宮城 信…14

金原省吾の解釈理論における「座」概念の考察

武田 裕司…23

文学と歴史に関する走り書き的覚書

西田谷 洋…34

8号 (二〇二一・一)

信仰としての文学教育

——学会が全体主義に奉仕するとき

西田谷 洋…1

書評

西田谷洋著『女性作家は捉え返す 女性たちの物語』

千田 洋幸…18

西田谷洋著『物語の共同体』

宮崎 靖士…22

9号 (二〇二二・二)

演劇教育の実用性とコミュニケーション

——平田オリザ・「明日のハナコ」・問題解決の導入

西田谷 洋…1

松谷みよ子『小説 捨てていく話』論

坂東 千晶…18

増刊2号 (二〇二〇・三)

アダプテーションとしての物語創作

西田谷 洋…1

松谷みよ子『小説 捨てていく話』本文異同稿

坂東 千晶…14

10号 (二〇二二・一)

栗林佐知の短編小説・序説

西田谷 洋…1

*

プロジェクト・マネージメント・小学校国語教材を読む	…	10
森絵都『帰り道』におけるコミュニケーションの幻想		
今井むつみ「言葉の意味が分かること」	野尻 紗永…	11
——論理を支配する語りの欲望		
中谷日出「アップとルーズで伝える」における情報制御の論理	野尻 紗永…	15
	西田谷 洋…	19
* 『富山大学日本文学研究』1～10号総目次		… 22
* 『文学教育の思想』の余白に	西田谷 洋…	27